

株主通信

第54期 報告書 平成27年4月1日 ▶ 平成28年3月31日



ICT社会の発展を価値ある「サービス」と「人」で支える
旭情報サービス株式会社

ICT社会の発展を価値ある「サービス」と「人」で支える

旭情報サービス株式会社

創業の精神



約束はきちっと果たす
決して迷惑はかけない
礼儀を重んじ
感謝の心を失わず
謙虚で素直に周囲の言葉を受けとめる

◀ 社是

企業理念

旭情報サービスは
生き生きとした人づくりに基づき
創意工夫とたゆまぬサービス改善により
情報社会の健全な発展に貢献します。

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

わが国経済は、昨年来中国をはじめとする新興国経済の減速等による不安要素は見られるものの、企業収益の拡大とともに雇用・所得の改善傾向が続き、景気は緩やかな回復基調で推移しました。情報サービス産業においては、クラウドサービス等の需要拡大に加えて企業業績の改善が後押しし、IT投資そのものは堅調に推移しました。このような情勢の下、当社では引き続きアウトソーシング事業の推進強化に注力し、企業との取引拡大や案件ごとの採算性向上に努めた結果、当期は売上および利益で増収増益となりました。

国内ITサービス市場全体は、今後も緩やかな成長が続くものと想定されます。当社は引き続き技術者の育成に注力するとともに、上流工程への移行とアウトソーシング事業の拡大によるサービスそのものの高付加価値化を進めてまいります。また、ITサービスのクラウド化への対応や多様な業種にわたる運用ノウハウを活かしたソリューションなど、当社の強み・得意分野の強化を図り、より一層の業績拡大を目指すとともに、案件ごとの採算性向上に努め、収益性の改善を図ってまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

田中博



Q1 景気は一進一退が続いていますが、この1年はいかがでしたか？

A1 クラウド化への対応やセキュリティ脅威の拡大により、国内企業のIT投資は依然として堅調に推移しています。企業は利益の中から一定のIT投資を行い、競争力の強化とともに、引き続き業務の効率化に力を注いでいます。
主力のネットワークサービスは、受注と売上の両面から業績のけん引役となりました。システム開発も増加していますが、システム運用は汎用系からオープン系への移行で前年をやや下回りました。当社はアウトソーシング事業の強化を進め、案件ごとの採算性の向上に努めた結果、利益面でも前年を上回っています。

Q2 当面の取り組むべき課題についてはどのように捉えていますか？

A2 お客様企業では、IT投資への理解が深まっています。ただ、当社としては正社員の技術者を大きく増やすわけにもいかず、案件ごとの採算性や業務の効率化をにらみつつ、プロジェクトごとで判断を行っています。案件の採算性は、チームをまとめるプロジェクトマネジャーの役割が重要になっています。ITの技術力に加えて、管理能力が強く求められています。こうした能力は経験と裏腹のところもあり、20代で企業風土の異なるお客様企業をいくつか経験することが必要です。人事のローテーションにも配慮しなければなりません。



Q3 消費税増税など読みにくいところもありますが、来期の見通しをお聞かせください。

A3 景気の先行きを不安視する動きも見られ、企業によっては新たなIT投資に慎重になっています。経済の動向次第では企業のコスト削減要求も強まる可能性があり、ITにもコスト削減に結びつく成果を求める傾向が見られます。IT投資は国際競争力のため、中長期的には増加していく可能性が高く、当社には英語や中国語を話せる技術者の確保という依頼も寄せられています。来期（平成29年3月）の業績は、売上高101億円（前期比3.2%増）、営業利益7億8千万円（同10.5%増）、経常利益8億円（同10.8%増）、当期純利益5億4千万円（同10.4%増）を見込んでいます。

Q4 株主の皆さまに一言メッセージをお願いします。

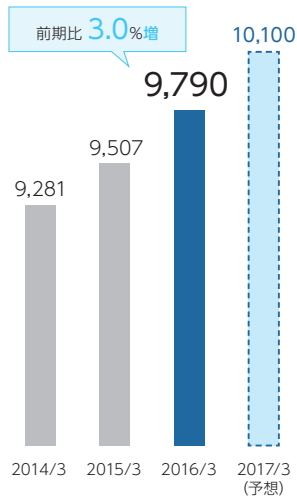
A4 企業におけるガバナンスをめぐる対応に社会の関心が高まっています。ただし、真に求められるのは形ではなく中身であり本気度です。経営の透明性を担保するため、当社は社外取締役の増員を進めていますが、監査等委員会設置会社*への移行も視野に入れて検討しています。

株式の流動性を高めるため、当社は投資単位をこれまでの1,000株から100株に引き下げること検討しています。また、種々の条件をクリアすることで、可能な限り早く東京証券取引所市場第一部への指定替えを目指してまいります。今後とも株主の皆さまのご支援を心よりお願い申し上げます。

監査等委員会設置会社：監査役に代わって監査等委員会が取締役の職務執行に対する監査を行う仕組み。取締役会の議決権を持つ監査等委員が、業務執行を行う他の取締役と同等の立場で、ガバナンス遵守状況についても発言・監督することができる。

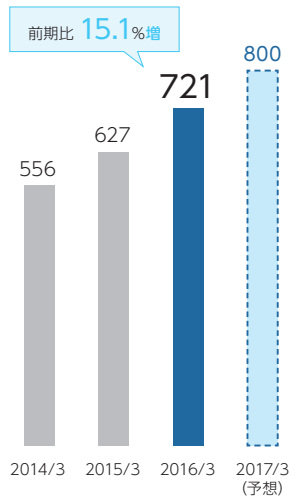
売上高

単位：百万円



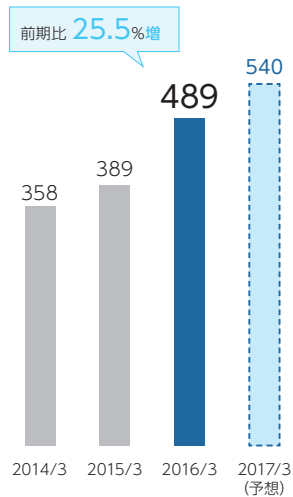
経常利益

単位：百万円



当期純利益

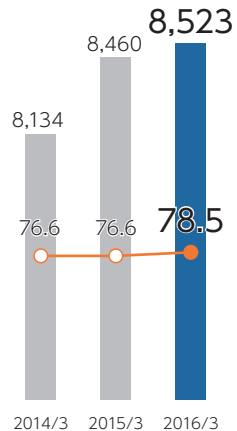
単位：百万円



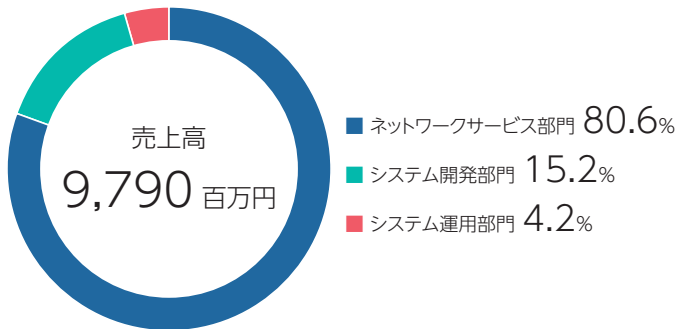
総資産 / 純資産比率

単位：百万円

● 純資産比率



■ 売上高構成比率



ネットワークサービス部門

運用業務の効率化やコストダウンの要請は引き続き厳しかったものの、アウトソーシングでの受注拡大を図るとともに、当事業部門への技術者投入を積極的に推進した結果、売上高は7,895百万円（前期比2.4%増）となりました。

システム開発部門

組込み系ソフト開発における検証業務が減少したものの、業務系アプリケーション等の開発案件獲得に努めた結果、売上高は1,487百万円（前期比8.8%増）となりました。

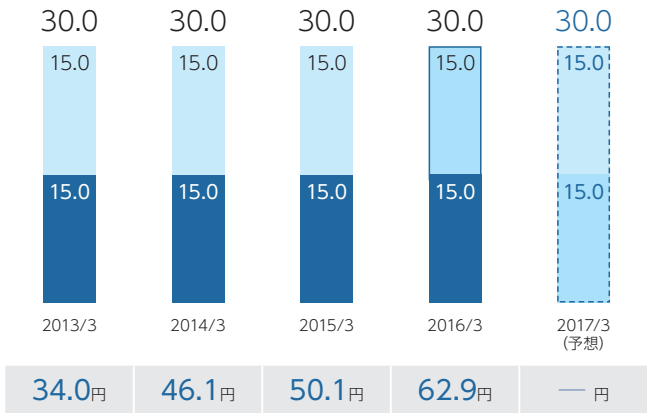
システム運用部門

汎用系の運用やオペレーション業務は、市場の縮小とともに価格下落が継続していることから、汎用系技術からネットワーク系技術への移行に継続して取り組んだ結果、売上高は407百万円（前期比5.8%減）となりました。

■ 配当金の推移

単位：円

■ 中間 ■ 期末



(参考)

1株あたり
当期純利益

配当金についての考え方

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営上の重要課題の一つとしており、経営基盤の強化と長期的な収益の向上を維持するとともに、配当につきましては安定的かつ継続的に行うことを基本方針としております。

当期の期末配当は、当期の業績等を勘案し、1株につき15.0円とさせていただきます。この結果、年間配当金は前期と同額の1株につき30.0円（配当性向47.7%）となりました。

今後も株主の皆さまのご期待に添うよう株主還元を努めてまいります。

■ 会社概要 (平成28年3月31日現在)

商号	旭情報サービス株式会社 ASAHI INTELLIGENCE SERVICE CO.,LTD.
設立	昭和37年8月7日
資本金	7億3,336万円
従業員数	1,413名
主な事業内容	当社は、ネットワークシステムの構築、運用管理をはじめヘルプデスクや障害対応などのサポート業務、およびソフトウェアの設計・開発業務を主力とするほか、汎用系システムの保守・運用管理などの情報処理サービスを行っております。

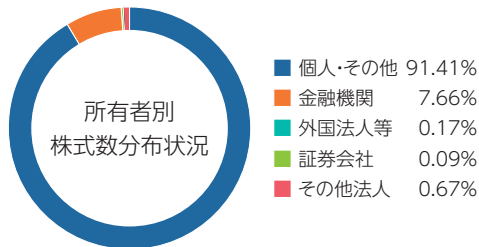
■ 役員 (平成28年6月23日現在)

代表取締役社長	田中 博
常務取締役	高橋 範年
取締役	濱田 広徳
取締役	英保 吉弘
取締役	宮下 勇人
取締役	水野 伸一
取締役(社外)	岩田 守弘
常勤監査役(社外)	松尾 良輔
監査役(社外)	三浦 州夫
監査役	河村 雄良
監査役(社外)	清水万里夫

株式の状況

発行可能株式総数	20,729,000株
発行済株式の総数	8,264,850株
株主数	3,262名

株式分布状況




大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
旭情報サービス社員持株会	1,015,537	13.05
大槻幸子	420,520	5.41
三井住友信託銀行株式会社	374,000	4.81
小野一夫	174,000	2.24
大槻武史	159,300	2.05
日本生命保険相互会社	157,020	2.02
平野民藏	150,000	1.93
大槻剛康	140,930	1.81
大槻幸史	136,200	1.75
大槻広子	97,900	1.26

(注)持株比率は自己株式(484,714株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	 0120-782-031
インターネット ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由により電子公告できない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。 ※公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.aiskk.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

● 証券会社に口座を
お持ちの株主様

お取引の証券会社に
お問合せください

● 証券会社に口座を
お持ちでない株主様

左記電話照会先に
お問合せください

● 特別口座の株主様
株券電子化以前に「ほふり」
を利用されていなかった株
主様

三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

株主懇談会について

当社は、株主の皆さまに当社の現状および今後の事業展開についてご説明し、オープンな意見交換ができるようにと、定時株主総会終了後に株主懇談会を開催しております。株主懇談会で頂戴しました多くのご意見・ご要望を今後の経営に活かし、株主の皆さまのご支援にお応えしていく所存です。

株主優待制度のご案内

株主の皆さまのご支援に感謝し、毎年、年1回の株主優待を実施しております。

贈呈
基準

毎年3月31日現在で、**1,000**株以上お持ちの株主様

優待
内容

「カタログギフト」5,000円コース

グルメ、伝統工芸品、憩いの体験、家庭用品など278点の商品の中から、ご希望商品1点をお選びいただけます。



ASAHI INTELLIGENCE SERVICE

AIS

旭情報サービス株式会社

〒100-0005

東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー11F

<http://www.aiskk.co.jp>



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

**UD
FONT**

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。